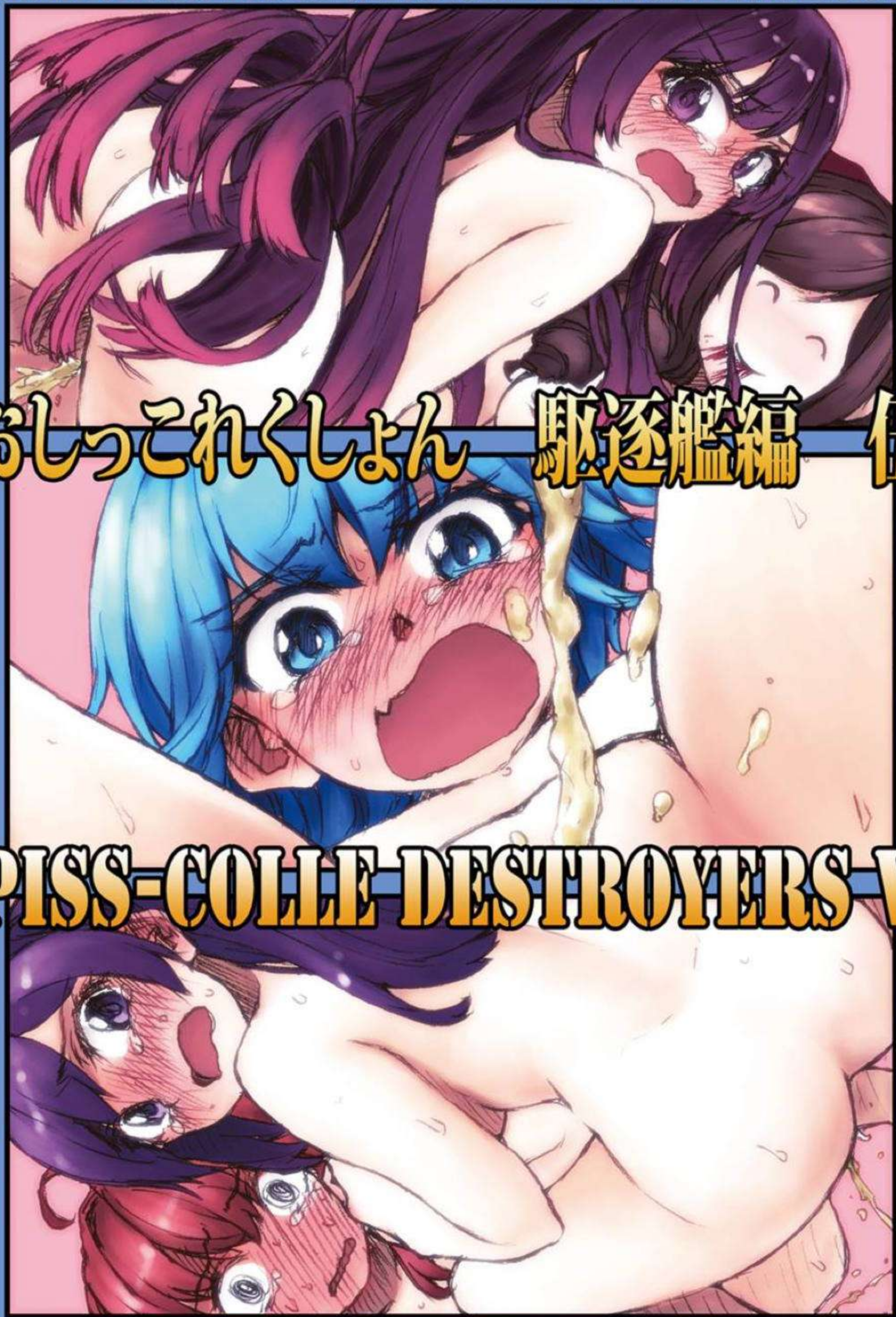


Combined Fleet Girls COLLECTION FAN BOOK



おしっこれくしょん 駆逐艦編 伍

PISS-COLLE DESTROYERS V

Volume 18 for ADULT ONLY

ある日のかしまにっき

提督さんにたいへんなお仕事を仰せつかっちゃった。

……新顔、といっても私より前に着任した子も混じってるんだけど、とにかく最近来た艦娘たちの、記録、をとってこい、ですって。記録……ええと、下着姿とか、裸とか、お……か、書けませんこんなこと！

提督さんはとてもよくしてくださいます。初顔合わせでいきなりぎゅうってされて、ききすされてびっくりしちゃったけど、香取姉や大井さんに負けないくらい綺麗で素敵なお人だし、ドキドキしました。でもあの、小さな駆逐艦の子の……そういう写真とかびでおとかで、昼間から……は、どうなんでしょう。それにお……お小水とかお好きで……。私偶然見ちゃって、パニック起こして香取姉に泣きついたら、みんな受け入れてるって、しかも夕雲ちゃんとか普通に……えっちなしてるっていうから、えーって。そういうのアリなんです。私もそりゃ、えっちな気持ちになることは……よくありますけど。提督さんの唇とか指とか……すごく柔らかくて……お、お小水見せたら喜ぶのかなとか……。

もやもやするので、思いきってストレートに提督さんとお話しました。最初は、えーと、副食目的だったってあっさりお認めになりました。でもそのあとの経緯、私たちが艦娘がどうやって“娘”として生きるか……みたいなお話とか、いくつかのレポート（なんだか南洋部隊、夕張さんといい青葉さんといい、えっちな方が多い気がします……）を聞いて、私泣いちゃって……。そして、あなたも実際に触れあってみるといいわ、ということ、いま手元にびでおカメラがあります。わー。

いざとなると、正直丸めこまれた気がしなくもないですが、提督さんの信頼に答えなくちゃ。鹿島、精一杯頑張ります！ 井上提督、見ていてください。

あ、いえ、あんまり見ないでください、恥ずかしいので……。

神風型 一番艦

(旧・第一号駆逐艦)

下着姿

「昔」の艦歴で言えば私なんかより全然先輩の神風ちゃんは、いつしよに終戦後の復員輸送をがんばった間柄です。といても、当時はたくさんの復員船が四方八方に奔走していたので、顔を合わせたことがあったか、ちよつど覚えてないんですけどね。で、その小さな先輩は小さな女の子の姿で、今、目の前にいるんですけど……「あの、下着……ぱんつ一枚なんですか?」「な、何かヘンですか?」「いえその、お胸もふくらんでるし、上も何かつけたほうが」「だって、あれ窮屈なんだもの」「口を尖らせる神風ちゃん。」「それに、昔」は乳バンドなんて洋装の職業婦人くらいしかつけなくてよ。下穿きだつてあんまり慣れないわ」

神風型 二番艦

(旧・第五号駆逐艦)

「そ、それは脱いじやダメですよ!?」慌てて制止する私。いくら帝都を光速で走つてそんな女学生スタイルだからって、そんなの提督さんや夕張さんが大変なことになっちゃいます。「そうですよ神風お姉さま。少し慎みをお持ちになつて」隣で、上下おそろいの下着を上品に着こなした春風ちゃんも窘めます。神風ちゃんより見た目も態度もオトナですが……「そりや春風には乳バンド似合ふと思ふけど、私こんなだし……」ぺたぺたと、薄く盛り上がったお胸を触りつつ「ほやく神風ちゃんに、春風ちゃんが三瞬ものすごい視線を向けたのを鹿島は見逃しませんでした。あ、そういう趣味なんですわ……」



胸部装甲・陰部

「いかがですかお姉さま。こちらの乳……今ふうに申せばじゅにあぶらの素材は伸縮性抜群ですよ。肌触りもよくて、あまり窮屈さを感じないと思いますの」「そ、そうね、これなら……ってそうじゃなくて！ どうして下だけ脱がされてるの!?」涙目で抗議する神風ちゃんの下半身はすっぱんぼん。その……つるつるの、すつと切れ込んだ割れ目しかない、まるつきり子供のおまたです。お、落ち着くの上鹿島、私、ろりこんじゃないのよ……ただとつてもかわいいから……。『そんな鼻の下伸ばして、説得力ないよ鹿島ちゃん』隣の那珂ちゃんに肩を叩かれました。……那珂ちゃん!? 「ホラ神風ちゃん、羽黒ちゃんもすつごく興奮してるよ」「ひゃ、ひゃぐろさん!」



戦争末期、シンガポールに逼塞した五艦隊で気を吐いていた巡洋艦羽黒と足柄、そして駆逐艦神風の武勲は今更私が語るまでもないでしょう。幾星霜を経て、いまや「神風ちゃん……かわいい……」と伏して拝まんばかりの羽黒さんと、獲物を見据えた狼のようになめずりする足柄さん、裸を見られて轟沈寸前の神風さんという有様ですが。……いいのかなあ。「あ、あの、春風ちゃんも素敵……です」「控えめに声を上げたのは、第三段作戦のころ、五水戦艦艦として春風ちゃんを従えていた名取さん。「うんうん、春風ちゃんももちろんかわいいよ。将来は名取ちゃんくらいおっぱい大きくなるかもね★」那珂ちゃんに親指を立てられて、頬を染める春風ちゃん。お毛毛はまだ少なくて、割れ目の下のほうが見えています。……おほん！ トラックを引き上げて呉の練習戦隊にいたころ、海上護衛に奔走する駆逐艦春風の姿はよく目にしました。私が一〇二戦隊旗艦として海護総隊に入ったとき、彼女は艦尾を失って馬公で修理中だったんですけどね。

性器

ごくり……。自分が生唾を飲みこむ音がやけに響きました。だって、「しっっかり見て……
 ください」目の前で、とうとう素裸になった神風ちゃん股を広げて、ついでに大事なところ
 も広げ……。「お姉さまの、小さくてかわいらしくて、いやらしい……」春風ちゃんの声が、
 すっかり艶を帯びています。こんな、子供の……でも、とろとろに濡れ、羽黒さんの指で掬う
 ほど溢れているのは、だしかに、すごく、えづちなんです。私、もうろりこんでいいや……

「に、入渠中にちらつと見たことあるけど……春風のはとっても大人っぽいわ」
 「うん。私の……より、オト方かも。綺麗……」
 「ああ……ありがとうございま
 す、お姉さま、名取さん」打ち震えるほど興奮している春風ちゃん。たしかに、
 充血して顔を出している大きな……クリも、神風ちゃんのより育ってて色の濃い
 びらびらも、だいぶ成熟しています。でも、女の子の穴はかろうじて指一本入るく
 らい。アンバランスさがすごくいけない感じで……「鹿島ちゃん、イイ感じ。夕
 張ちゃんや明石ちゃんにひけをとらないね★」那珂ちゃんに謎の太鼓判を押され
 ちやいました……

放尿

シチュエーションは基本的に撮影者にお任せなんだそう
 考えあぐねた末、練習航海中に洋上でさせたのと同じように、
 服を着た二人にぱんつを下ろしてしゃがんでもらいました。
 後ろで那珂ちゃんが神風ちゃんを支え、そして、「羽黒さん
 ……」じよろろろ……少し開いた割れ目から、おしっこが
 噴き出しました。放物線が乱れがちで、しぶきがかなり飛ん
 でいます。「神風ちゃん……いい」見るからに劣情を催して
 ……きてもらったとき、ほんとに「夜中、おトイレについて
 ……」私のおしっこ見ながら興奮してるって。嬉しかったわ
 ……今も……羽黒さんも足柄さんも、かわいい……

下着姿

「昔、私——鹿島を旗艦とする四艦隊に夕張さんの六水戦がいたので、三十駆や二十三駆の睦月型の子とは縁があります。……四艦隊主導の作戦で駆逐艦・如月と菊月を喪失したという縁が。恨み言のひとつも覚悟してたけど、むしろ再会を喜んでもらえて、夕張さんや睦月型の子たちとはとっても仲良しです。つい最近、元二十二駆の水無月ちゃんが加わりました。名取さんの五水戦やガ島撤退後の三水戦にいたのでもあまり面識はなかったけど、みんなで紹介しにきてくれたんですよ。……いきなり下着姿ですけど、姉妹のなかでも小柄でろり体型なのにちゃんとブラをつけてきてくれたんです。しかもボイッシュなあたり、すごくいいですよ。……うーん、やっぱり見所あるわね鹿島」……夕張さん、鹿島、もうろりこんでいいです。

胸部装甲・陰部

「えへへ、ど、どう……かな？」う、うわあ……下をばんつごと下げて、上をブラごとまくり上げた水無月ちゃん。神風ちゃんより小さな小さなお胸と、同じくらい綺麗な割れ目。隣で僚艦の文月ちゃんもおまたを晒して、鹿島や夕張さんが人間だったらもう犯罪そのものの光景です。私たちが艦娘なのでした。それにしても、水無月ちゃんの反応を見ると、文月ちゃんより性知識はありそうな感じですよ。



性器

「なんかな……さ。前はそんなでもなかったのに、
 こういうの、最近すげエ、ヘンな気分になった」
 言いながら、右手でくち……と開いたそこ。資
 料として速吸さんに見せてもらった再改装前の
 映像よりも、クリちゃんも花びらも全然育って
 るけど、全体的にサーモン色のまま。「あウン」
 我知らず、膣口のまわりに舌を這わせていまし
 た。「時雨……姉貴みて川なこと……すんのな」

放尿

「これも……江風がシヨンベン出すとこ見るの好きな
 だよ、時雨姉貴。ンにや、なんか艦娘つてみんなシヨン
 ベンでコッポンすのかな。……ンじゃ、出すよ……」
 ぶしっ、しょおおお。ああ……すこいえつちい……
 「時雨姉貴……さ、江風とか、五月雨姉貴のシヨンベン
 見ながら……ひとりでおまたいじることがあつてさ。そ
 ゆとき……ン、終わった。拭いてくれんの？ありがと
 そう、そんなとき時雨姉貴はすげー暗い目して、ちよつ
 と怖くて、でも、それでびくびくしてなつたあとは普段
 の優しい姉貴に戻るから。江風とえつちなことして、気
 持ちよくなつて落ち着くんなら……いいよって思うんだ。
 でも、ちらつと川内さんや瑞鶴さんにこぼしたらすげー
 悲しい顔されて、ばかつらぎなシヨンベンの泣いちゃうの。
 なんかな……ままならないもんだね。江風はただ、姉貴た
 ち、川内さん、ばかつらぎ、みんなと楽しくやりたいだ
 けなんだけどな。……鹿島さんまで泣くなよオ……」

自慰

再改装に伴う「副作用」として、戦艦から駆逐艦に至る
 まで、大なり小なり、性欲の亢進が報告されています。
 特に激しい戦闘のあとなど、若い艦娘ほど、泊地へ
 の帰投まで抑えきれず、小休止して致してしまうことも
 信管を抜いた魚雷でのオナニ川を覚えた江風ちゃんも
 なかなか大変なようです。時雨ちゃんとか、海風ちゃん
 とかが川内さんとか、神通さんとか、嵐ちゃんとか、
 三回ほどいって終わるまでにはいるんな艦娘の名前が切れ
 切れに聞こえていました。

朝潮型一 番艦 朝潮改二

下着姿

「よろしくお願ひします」いつも堅めな朝潮さん、今日は特にガチガチな感じですよ。まあ、こんな任務ですものね。「いえ、その……以前、霧島さんと青葉さんに撮っていたとき、醜態を晒してしまいまして……」
「あ……」そのときは見ました。あとで荒潮ちゃんが怒鳴り込んだりして大変だったそうです。今は仲直りしてるんですけどね。ともかく。以前はまるで色気もなく、ただただ戦う存在だった朝潮ちゃん、再改装を経て、下着にワンポイントつく程度には「娘」としても育ったようです。

朝潮型二 番艦 大潮改二

「朝潮姉さんは大潮たちが育てたんです!!」力説する大潮ちゃん、以前は元気のいい子だなーとばかり思っていました。が（バリ島沖海戦の武勲なんかは承知のうえです）、再改装後、見違えるほどの美少女になりました……かけてます。ざわつく提督さんや艦娘一同に、大潮ちゃんはもとともとかわいいですつ、と神通さんや姉妹たちは膨れっ面でしたけど。とはいえまだまだ、今後の伸びしろが大いに、という感じですけどね。



胸部装甲・陰部

「ほ、ほらほら、アゲアゲで行こう。朝潮姉さん！大潮が手握ってるから！」「う、うう」全裸の美少女二人を前に、鹿島こそ今まさにアゲアゲなんです。さすがの大潮ちゃんも恥ずかしいよう……。長女と次女、体格がけっこう違いますね。かなりののろり体型だった大潮ちゃんは今も細身で、お胸もお毛も控えめ。いつぼろ朝潮ちゃんは、大きな乳輪とか、ツンと尖ったおっぱいと、広い骨盤とか、濃いめの陰毛とか、むっちりめの太ももとか、全体的にえっちな真面目な子ほどなんとやら……。って、あんまり言うとな怒られちゃいますね。あれ、なんだか胸にぐさぐさ来るけど……。



性器

ここから僚艦——荒潮ちゃんも参戦です。「うふふふふ……えっちなななちでしよう？ 朝潮姉さんの「赤く色づいたところの周りをなぞりながら、妖艶に微笑む荒潮ちゃん」。「あつぽったくところほら、けっこう伸びるのね、このひだひだ」それに、お豆さんがぶつくり」大きい……です、よね。「荒潮がね、育ててあげたのよお？」

大潮ちゃんのは、朝潮ちゃんよりも小さめですが、色素は濃いんです。「私がね……舐めたり触ったりしすぎたからかも」満潮ちゃんが頬を染めてつぶやきました。凄惨すぎた艦歴のせいかな、顕現してから長いあいだ情緒不安定だった満潮ちゃん、大潮ちゃんに性的に依存していたと聞いています。八駆の司令駆逐艦だった大潮ちゃんのほうが、実は満潮ちゃんを依存させてあげ、ゆっくり癒していたんじゃないかと、提督さんは仰っていました。

放尿

「は……恥ずい……恥ずすぎる……すごい
いっばい出てるし……気持ちいいけど……
こんなところもがみんや扶桑さんに見られ
たら私死ぬ……」

「姉さんたちも満潮ちゃんも、おしっこたくさん出してえっちなえ……もつと色々なことを
しまししょう？ 私たち、早くに離ればなれになっ
てしまっただけですもの。したいこと、なんでもじ
ていいのよお。神様だって赦してくださるわ」

自慰

「の、飲んでつ、満潮ちゃんつ」大潮ちゃん
んが叫ぶや、激しく動かす指の下で、膣が
きゅつ、きゅとすぼまり……お潮とおじつ
この中間みたいな液体を噴きまじた。当然
そうする権利があるみたいにくぐくぐと
飲む満潮ちゃん。大潮ちゃんイキッばなし。

「だ、だからって第八駆逐隊で連れ
……なんて……海の上でだってこん
な……でも、気持ちいい……
かも、しれない。いつか……野島さ
んもいつしよに、できたら、な……」

「朝潮姉さん、ぐちゅぐちゅすごい音……」じつくり、
じつくりと、荒潮ちゃんが教えこんだのだそうです。
「いき、そう」「ハ、いいわ……」思いきり。荒潮のおかず
にさせてえ」「うっ……ぐ!!」

「あはは、いい気持ち！ 見てください鹿島さん、朝潮姉さんも、
荒潮ちゃんも満潮ちゃんも、どつてもアゲアゲです！ こういうの、
いいですよね！ 第八駆逐隊も、朝潮型も、ずつとずつと、元気
でしつかりやって、幸せになるって、大潮は決めてるんです！」

陽炎型四番艦 親潮

下着姿

鹿島が顕現したのは、コロナハイカラ島への輸送作戦の最中でした。まるで昭和十八年の再現のような……。開戦以来二水戦の中核だった一五駆——駆逐艦親潮・黒潮・陽炎が、コロナバンガラ島輸送中に全滅するという悲報がトラックに届いたのは五月上旬。そのとき「一五駆を率いていたのが、この春にやってきた親潮ちゃんです。不知火ちゃんみたいな真面目な子だと思っていました。妙に大人びてエロチックな黒い下着で、私びっくり。本人いわく、軽快そうに気が引き締まるから選んだだけで、えろいとかはまったく心外なんだそうです……。」

胸部装甲・陰部

年かさつぽい子の多い陽炎型でも大きめなお乳に、黒々と生い茂る下の毛は……やっぱりえつちな感じですよ。せやろ？ 安産型の腰つきもポイント高いで。「って、く、黒潮さん！ どうして脱いでるんですかっ!?」「親潮ちゃんが脱いだるから」「り、理由になつてません!!」「ハ、あんな、うち、めつちやムラムラしとるんよ。ホラ」「あつ……すごい濡れ……」「ずつと、親潮ちゃんとシたかった」



性器

「ああ……親潮のおメコや……ごつつやらしゅうて、ごつつ綺麗、へらへらしとるつで思われとるみたいやけど、ホンマはどうしようもないエロガキやねん、脳内ピンク色や。あんたのおメコくらいどピンクや」「褒めてんのかしら……まあ、ね。三人揃ったらって気持ちちは、この陽炎も、神通さんだつて黒潮にはかなわなかつたわ」「わ……私だつて！ ソロモン海に溶けて広がって、漂っているあいだじゅう！ きつと……黒潮さんや陽炎姉さん、神通さんにもまた会いたいって、ずつと思つてたんです。早潮や夏潮にも。だから……今こうしてるんです。黒潮さんに触られて……もう、限界なんです。ねえ、くだ……さいっ！」

放尿

全肯定、というのが艦娘に対する基本的なスタンスだと、提督さんに伺いまじた。艦娘としての二度目の生を受け入れ、謳歌してもらいたい。そのために、全部OK。今度こそ海戦を戦つて沈みたいという思いすら肯定。もちろん性的な面だつて、そこから始まるんだと。言葉にすると簡単なようで、実際とてつもない胆力が要求されるんだと思ひます……見た目だけなら、学生かつかつてくらの女の子たちが、お小水を浴びたり浴びせたり、飲んだり飲ませたりなんて普通びつくりぢやうでしようからね。「ああ、熱い、あつあつ」持ち上げたお乳に、親潮ちゃんのお小水を受けて、黒潮ちゃんもこのすこい表情でびく、びくと身体を震わせています。隣でこちらもとろつとろな陽炎ちゃんが、ぼんつの中をぐちゅぐちゅとまさぐり、濡れそぼつたア行の音を口から漏らしつづけています。これでいいんです。はやく早潮ちゃんや夏潮ちゃんに再会できるといいな。

嵐 陽炎型十六番艦

下着姿

「い、いやー、いやーどうなんだ、これ」「year?」「じゃなくて! いや俺は別にいんだよ? 服なんかしょっちゅう破けるし焼けるし、むしろ名誉の勲章だね。か、身体だってその、鍛えてるし……ただ萩が、萩がさ、ホラ恥ずかしがつてんじやんか? だからさ、あんまジロジロ映すのも」「そうですねえ……じゃあ嵐ちゃんメインで」「なっ!?」あからさまに身を固くする、サラシにシンブルな白ぼんつの嵐ちゃん。「かわいい♥」「かつ、可愛くねえよ!」俺そーゆーんじやねえから! そういうのは萩とかのわっちとか舞……とか! だろ! うーん、なんどいうかわかりやすい子です。

萩風 陽炎型十七番艦

「すみません鹿島さん、嵐つたら強情で。司令も舞風も野分も、江風も時雨も川内さんも那珂さんも、みんな嵐のこと可愛いつて言ってるのに聞かなくて!」やめろよお、じんまじんが出る……俺は天龍さんとか木曾さんとか、あーゆーカッコいい系がいいの!」「お二人とも可愛いって言われてるような……。ところで萩風ちゃん、お腹痛いんですか?」大丈夫?」「あ、いえ……」「なんか、ハラ出てんのが恥ずいんだってさ!」「あ、嵐イ!?」もー馬鹿あ!!」「いって、いーじやんか大人っぽくてえろ可愛いとか言われてんだから!」「嬉しくなーい!」下着姿でじゃあう美少女二人。尊いです。





胸部装甲・陰部

「は、萩い」「な、何よ嵐、怖気づいたの？」
「だってお前はだ……裸だぞ!? ハラどころか
乳丸出したぞ!?」「い、いいもん! お腹丸出
しなんだから、裸くらい」「どんな理屈だよ!
ぎやいぎやいと騒がしい四駆のお二人、こうし
て見ると、引き締まった嵐ちゃんにふくよかな
萩風ちゃんと対称的です。でも、まだつるべた
な野分ちゃんと舞風ちゃんに比べるとお姉さん
ですよ。」「え……鹿島さんのわっちと舞の
も見たの!?」「といますか舞風ちゃん、わり
と積極的でした」「じゃじゃーん!」「舞風、参
上!」「の、のわっち参上……!」「わあっ!?」
「んっふっふり、あらびっぴ、えっちしよ!」
「アイエエエ!」

性器

「ま、舞、ふざけるのはやめろって」「ふざけてないもん。……あらびっぴのおまんこ、のわちちが来る前から、のわちちかわい」「おま……どこでそんな言葉」「舞風ね、のわちちが来る前から、のわちちや萩ちゃん、あらびっぴでオナってたのよ」「なっ……」「のわちちとえっちして、萩ちゃんともさわりっこしたり。……あらびっぴともね、こうゆうことしたいって、思ってたよ」「……ぞっか」「……ごめんね。悪い子で」「……俺の……まんこ、どう？」

「……うん。ちっちゃい。萩ちゃんより全然。でも、あたしやのわちちのはもっど子供っぽいから。えへへ」「……」「あとね……えろい。オナするとき妄想じたのよりずっと」「……俺も……舞がドックでふざけておしっこしてるどきに、見てさ……興奮して……ごめん」「……んーん。嬉しい。……ね、いつじよにおしっこしない？」

「やっぱり……萩風は……オトナ、だね」「どこ見て言ってるの」「ごめん」「私ね……野分と舞風が……してるのこっそり聞きながら……ひとりで、したわ。何度も」

「……萩風が気持ちよくなる……なら、野分……もっど、見てほしいなって。舞風も、同じだって」「ふふ……」

放尿1

「うわ……舞のおまたから、いっばい出てる」「あらびっぴの勢いすごい……なんかすすいドキドキする」「……海の上じゃ、俺は萩と舞はのわちちとじてたからな」「……こんなの見たら、あたし任務中にオナって怒られてるよ」「ふふ、舞はえっちだな……」「あらびっぴだつて」「おう、俺も……えっちだぞ！萩ものおちもえっちだ！なんか、いいなあ！」

放尿 2

「は……萩風、丸見えだよ……」
 「何が？何が丸見えなの？」
 「……お……またから……おじつこが出てる……」
 「ふふ……私も、野分にもっと見てほしいなって。」
 「野分のかわいいところも、よく見える。私、ろりこんなかもしれないな」
 「……ぼか……」
 「こんなことしてると、赤城さんや加賀さんが知ったらびつくりしちゃうから、悪い子って思われるかも。でも、私は野分がいい子だつて、悲しいくらいいい子だつて知ってるわ」
 「……野分も、同じ。萩風も、嵐も、いい子で、大切に……鹿島さんが来た作戦で、ふたりの気配を告げられて、……舞風も野分も、嬉しくて、すごい泣いて……！」

四人

ありていによれば、見た目……学生の子四人が、ぐちよぐちよになつて、レズセックスを繰り広げています。いまはもっぱら嵐ちゃんが攻められて……あおもらして、舞風ちゃんに飲まれてる。野分ちゃんと萩風ちゃんも、嵐ちゃんを弄りながら互いに睦みあつています。人間の尺度にてらせば、破廉恥、不道徳な光景かもしれないが、彼女たちの最期を思うと、鹿島は何も言えなくなり、どうか、今回”は幸せな結末を。”

性器

「おつきーのまんまん、ちつちやくて可愛い。ここ、クリちゃんがつづくりしてよ。いいいいいい」 「や……汚い……です」 「おつきーは鈴谷の人たちの恩人だもん、なんにも汚くなんてない。……本当に、真面目に頑張ったんだね、最後まで」 「……」 「でもね……真面目な人ほど、どんどん死んでいったんだ。あのとき、艦娘になつてもね、あのころ新しかった、終わりのほうしか知らない子ほど、真面目に張りつめて……すぐに沈んじゃいそう。……提督や淀つちが言うんだ」 「鈴谷さん……私は」 「おつきーも……鈴谷真面目なおつきーが大好きだけど、それだけ心配なんだ。ね、いいんだよ。鈴谷をオカズにしても。鈴谷怒らない」 「!! ど、どうして」 「まあ……こい、ゆー話は鈴谷なんかの耳にや入りやすもつと……鈴谷不真面目だから。ねえ、もつと……気持ちよく、ならない？」



自慰

「おつきー、はあ、クリ派なんだ」 「ここが、いい……から」 「だから、クリちゃんおつきーなんだね……や、すごい、来る、これ」 「鈴谷、さんの、音、ぐちゅ、ぐちゅって」 「おつきーが、かわいい、から……あ、ヤバ、来る、来る」 「わ、私も……見て、鈴谷さん、見て……ツ」 「……ありがとうね」 「……えへ、へ」 「……はい、はい……？」

放尿

鈴谷さん、上手い……というかなんというか。あつという間に沖波ちゃんをとろつとろにしてしまいました。そうして、これです。 「や……出ちゃう」 「いいよ。出しちゃえ、出しちゃえ」 「しよろろろ……ヤバい、おつきーのおしっこ、すごいエロい」 「き、清霜がふざけて立ちションしてるの全然違うぜ……」 「う……これエロいな、巻雲姉にやらせてみてえ」 「あ、ああ……終わった？ おしっこいっぱい出たね。おつきー気持ちいい？ 鈴谷、すつごい興奮したよ……ねえ……オナ、見せてよ。鈴谷のも見せたいからさ。一緒にシよ？」

朝潮型一番艦

胸部装甲

普段生真面目な少女を羞恥に染めあげたいというクソツたれた欲望が私を突き動かす。「この部分の大きさは、やはり性能に影響するのでしょうか……。自分では、駆逐艦としてはかなりよい仕上がりに思っているのですが……」ぶつぶつ呟く彼女の表情が、本音を雄弁に物語る。

陰部

「こ……この部分は、個人差も大きいと思うのですが……？」朝潮の頬は茹でダコのように紅潮し目尻には溢れんばかりの涙が……。嗜虐心が湧きあがる。申し訳程度の陰毛と、自己主張する陰核包皮が、それを加速させる。そして次の一言が、私のなけなしの理性を粉碎した。「……申し訳ありません。一度、花を……摘んできてよろしいですか……？」

下着姿

「かわいい下着ね」私は思ったままの感想を述べた。朝潮は非難と受けとったらしく、緊張した面持ちで答える。「妹たちが、どうしても作戦行動中に下着が見えてしまうのだから、いっそかわいいのにしたいたいと言いだしたので、長女の私も揃えることに……。あの、気合が抜けるほど華美なものは避けつつもりなのですが……」「いいのよ。その下着を着けて、思いっきり暴れなさいな！」

朝潮型二番艦 大潮

下着姿

「小さな体に大きな魚雷！」とよく言っているように、小柄な大潮ちゃん。でも、ちゃんとジュニアブラをつけているんですね。朝潮型より一世代前の白露型は、みんな朝潮型より成熟した身体つきなのにノーブラ。艦娘っていいわ、何なんでしょうね？ まあ青葉は、駆逐艦娘ちゃんたちでハアハアできればそれでいいのですけど……。

胸部装甲

芸術的なまでに小さな、それでもわずかに膨らみはじめたロリっぽい。ああ、撫で回したいです。「満潮ちゃんがよく撫でてくれますよ！」な、な、な、な

陰部

外部装甲を身につけた状態でスカートをまくり、ぱんつをずらして、綺麗な割れ目とほんのわずかに生えはじめた陰毛を見せる……といふのを、なんと大潮ちゃん自ら提案してききました。満潮ちゃんと、よくごういう「えうちごっこ」をずるといふ、戦慄の証言がッ！



性器

「これ、くぱあって言うんですよね？」さらに恐るべき平然と口にしなから、まさしく「くぱあ」と大陰唇を広げてみせる大潮ちゃん。大潮ちゃん同様、まだまだ膣口は小さく、小陰唇も存在がわかる程度なのですが……あの、満潮ちゃんは、いったいあなたに何を？」



放尿

「満潮ちゃんがいつも見たがるやりかたで、おしっこしますね……」頬を赤らめながら大潮ちゃん、ぽんつを脱いでトイレに腰かけると、おもむろにスカートをくわえてあそこをさらけだしました！そして、じよおとお……と勢いよく排尿。エロすぎます。青葉、思わず隣の個室に駆けこんで、2回抜いてしまいました……。おちんちんが生えていたらすごい量射精していたかもです。

自慰

「は……あ……満潮ちゃん……」ブラウスをはだけさせ、ささやかな膨らみを揉みしだきつつ、左手は小さなクリトリスををぎゆう、と刺激。時々きゅつと股間に力が入り、緩むと同時にちよろつと尿が吹きでました。「満潮ちゃん……また……飲んじゃうのお……？」トドメにこの発言ですよ！満潮ちゃん……これは、根掘り葉掘り膣掘り聞く必要がありそうです。



白露型九番艦 江風

下着姿

江風だよ。パンツ一枚で悪いな。やー、なんか面白ことやってるんで、これを機会に時雨姉貴と仲良くなるろうってな。なんかあんまり顔合わせないで、ここはひとつ裸の付き合い。どうよ、28バランスいい身体だろ？ あん？ いいのいいの、乳はそのうち村雨や夕立の姉貴くらいデカくなっからさ。パンツはまあ、あしま派手なのは江風にやちつと似合わねえかなって。こ川ゆー、ちっこい乳とか子供のパンツとかも人気あッだろ？ お、おう、そーか夕張さんはこーゆーのが大好きって五月雨姉貴が言ってたな……。夕張さんよ、あんま五月雨姉貴に苦労かけんなよ？

胸部装甲・陰部

んー……時雨姉貴イ、人前で素っ裸に
なんのバけっこう恥ずかしいな、ハハ
……。まあ、バランスいいつつてもこ
覧のとおり、艦娘としちゃまだまだガ
キンチョコの身体さ。毛も生えてねえ。
白露型じゃまだ毛が生えてないのは、
他に五月雨姉貴だけだっつてな。涼風に
もほんのちよろつとだけ生えてたのは、
まーちつとだけ悔しかったね。あーあ、
せめて時雨姉貴ぐれえにはなりたいたよ
なあ。乳もあって、毛がふさふさして
て。何よりすげー鍛えてんだろ、腹筋
がっつり割れてンじゃん。カツコいい
な。……川内さん、時雨が心配だか
ら頼むって言ってたけど、強くてカツ
コいい時雨姉貴の何が心配なんだろ？
姉貴？ 姉貴ー？ ーなシか顔色悪いぞ。
……ひよつとして。昔のこと、気
にしているのか？ だから江風のこと、
避けてたのか？





性器

あう……なんか、こんなショボン出すとこなんて、あんまり人様に見せるもシじやないっつーか、すっげえ恥ずかしいんだけど……。時雨姉貴、興奮……してんのか？ いや、そんならまあ、見せた甲斐もあるっついでモンさ。……触るかい？ えっ、姉貴の……見せてくれシの？ おお、おう、そんなら見せ合いつこだな。……えっ……何ッレ。時雨姉貴の、色も形も江風とはだいぶ違うのな……。うん、自分の鏡で見たことあるよ。ショボン出すとこどうなってるんだろうな……。なんか穴が開いてたりしてへんなのって思ったけど、時雨姉貴のは江風のよりぐにやぐにやしてんな。この色のついたびらびら、江風のここンとこだよな？ へ、へー、江風のもそのうち、こんなふうになんのかな。……姉貴？ ……ん……なんか、ヘンな気分……。だ、こんなとこ見せっこしてっからかな、ドキドキすんだ……。

シヨンベン……見たいの？ 時雨姉貴。……いいぜ。……あのさ、これえっちちってヤツなんだろ？ 江風はよく知らねーけど、姉貴にならえっちなことされてもイイっていうか……もつとさ、仲良くなりてえんだ。うっ、ぐじゅ、んだよお、淋しいに決まってるだろ！ せっかくまた会えたのに、江風が沈んだあとも助かって、ずーつとあとまで戦ってた。聞いてめちやめちや嬉しかつたし、散々な目に遭ったことも聞いて江風わんわん泣いちゃまって……でも、何も声かけさせてくれねんだもん！ 謝んなよお！ 江風が沈んだのは油断してたからだよ！ 無事だったこと、誇れよ！ 何度も戦場潜り抜けた武勲艦だつて顔しろよ！ 江風の自慢の姉貴でいてくれよお！ うわああああん！ ……ぐすつ……。悪イ。姉貴まで泣くとおは思ってた。うん。うん。また、仲良くしてくれたら、江風は嬉しいな。時雨姉貴のこと、大好きだから……。……なあ、えっち、続きしよう。時雨姉貴が江風にシヨンベンさせてよ……。あ、そこ……そこ触られつと、ピリピリする……。あ、あッ、なんだこれ気持ち……ッツツ！ ……あー、シヨンベン……出てらあ……ハハ、すげー黄色い。姉貴見てっか？ ……もつと、えっちしたい……。

放尿



おしっこれくしょん 駆逐艦編 伍
Combined Fleet Girls Collection FAN BOOK Vol.18

発行日 2016年9月11日
ダウンロード版 2018年3月6日

発行サークル LUNATIC PROPHET
pixiv id=92903

発行人 有村悠 Yuu Arimura
e-mail edgeoftheseason@gmail.com
twitter id=@lp_announce

印刷所 株式会社 くりえい社
web <http://www.kurieisha.com/>

produced by Lunatic Prophet
2016.09.11.

この感じ……×××では
ないですよ？